

# 興南(男子)浦添(女子) V

## ハンドボールの第52回県高校選手権

ハンドボールの第52回県高校選手権大会の決勝は18日、八重瀬町東風平運動公園(新里圭蔵撮影)で、興南が那覇西を21-17で制し、11年連続33回目の優勝を飾

### 伊禮、石嶺が勝負強さ 興南

男子決勝、興南は最後まで引き締めた。興南は序盤から「タイムイングやコースに工夫がな

#### ハイライト

あるロングシュートやステップシュートで点を重ねて、連覇を11に伸ばした。

黒島宣昭監督から大会の指揮を任された照屋喜隆コーチは「選手

り、女子は浦添が39-13で浦添商業を制して2年ぶり11度目の頂点に立った。

▽決勝

国遠征から戻ったばかりの伊禮が守備の間を射抜く

新チームを率いる石嶺主将は「シュートミスが多く苦しんでしまった。全国で勝つことを目標に、みんなと練習に打ち込んでいきな

女子

興南 21 9 12 9 8 17 那覇西

▽決勝

浦添 39 20 5 13 浦添商

堅守速攻で圧勝 浦添、終始主導権

浦添は、浦添商業の



をつぶすと、後は堅い守備からの素早い速攻につなげ、26点差で圧倒した。浦添の佐平牧生監督は「皆が伸び伸びとプレーを楽しんでいた」と笑顔を見せた。左45度のエース伊波優里のロング、右45度で左利きの山田若菜の個人技など2人で15点。ランパスの基礎練習を徹底したことで、控えメンバーも攻守の切り替えが早く、守って速攻で終始主導権を握った。

大差の要因には浦添商業は第69回日本ハンドボール選手権第3回九州ブロックに主力を派遣している事情もあつたが、浦添の今後に勢いを付ける一勝となつた。伊波は「新チームの初大会の優勝は大きな自信になる。ここから九州、全国に通用するチームにしたい」と声を弾ませた。

女子決勝 浦添-浦添商 後半、ディフェンスをかわしゴールを決める浦添の伊波優里 18日、八重瀬町の東風平運動公園体育館



男子決勝 興南-那覇西 前半、味方からパスを受けゴールを決める興南の西銘龍希 18日、八重瀬町の東風平運動公園体育館(新里圭蔵撮影)